

平成28年度 第2回朝倉市総合教育会議

日時：平成29年2月15日（水）14：00～15：15

場所：別館第2会議室

出席者：構成員 森田市長、宮崎教育長、小川教育委員、月俣教育委員、
内藤教育委員
教育部 秋穂教育部長、高良教育課長、山南生涯学習課長、
畑文化課長、
朝妻教育課参事、大坪教育課参事補佐
二宮教育課総務係長
事務局 鶴田総務部長、石井総合政策課長、
柳瀬男女共同参画推進・青少年係長、田子森
傍聴者 0名

欠席者：井手教育委員

1 開会

2 市長あいさつ

3 議題

(1) 次年度朝倉市教育施策要綱(案)について

(2) 小中一貫校のあり方・経営方針(案)について

(3) 支援を必要とする児童・生徒に対する教育の充実について

4 その他(事務連絡)

5 閉会

| | |
|------|--|
| 石井課長 | <p>【進行：石井課長】</p> <p>それでは定刻14時ということでご案内をさせていただいておりました、関係者すべてお揃いでございますので、5分ほど早いですが、ただ今から、平成28年度第2回朝倉市総合教育会議を始めていきたいと思っております。</p> <p>開会のあいさつ</p> <p>本日の会議の進行をいたします総合政策課の石井といたします。よろしく願いいたします。なお本日は、井手教育委員様が所用</p> |
|------|--|

| | |
|-------------|--|
| | <p>のために欠席をされておりますので、ご報告をいたします。</p> <p>それから本日の会議資料ですが、まず、会議次第並びに総合教育会議資料1としまして本日の議題(1)の次年度朝倉市教育施策要綱(案)について、資料2としまして(2)小中一貫校のあり方・経営方針(案)について、(3)支援を必要とする児童・生徒に対する教育の充実について、を綴っております。</p> <p>それでは次第によりまして進めていきたいと思っております。</p> <p>まず、朝倉市市長 森田市長から、あいさつを申し上げます。よろしくお願い致します。</p> |
| <p>森田市長</p> | <p>市長あいさつ</p> <p>皆さん、こんにちは。本日は、お忙しいところ、教育長をはじめ、教育委員会委員の皆様におかれましては、平成28年度第2回 朝倉市総合教育会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> |
| <p>石井課長</p> | <p>この総合教育会議は、市長である私と教育委員会が対等な執行機関と位置して協議や調整を行うことにより、教育の課題やあるべき姿を共有し、連携しながら効果的に教育の条件整備など重点的に講ずべき施策等を推進することで、教育行政をより良い方向に進めていけるのではないかと考えております。総合教育会議が市の教育行政のさらなる充実、発展に寄与することを期待しますと共に、教育委員会の皆様方には、この総合教育会議を含め、今後とも、本市の教育行政のためにお力添えを賜りますようお願い申し上げます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p> |
| <p>市長</p> | <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、3.議題に入っていきたいと思っております。</p> <p>これからは、朝倉市総合教育会議設置要領第3条第1項の規定によりまして、朝倉市長の森田市長に、議長として、議事を進めていただきたいと思います。</p> <p>市長、よろしくお願いいたします。</p> |
| <p>市長</p> | <p>それでは、次第「3 議題」にあります順に、協議を行ってまいりますので、よろしくお願いいたします。</p> |

| | |
|------------------------------|---|
| | <p>まず（１）の「次年度朝倉市教育施策要綱(案)について」を議題といたします。説明をお願いします。</p> |
| <p>朝妻参事 山南課長 畑課長</p> | <p>資料 平成 28 年度第 2 回 朝倉市総合教育会議資料（1） 「次年度朝倉市教育施策要綱(案)について」の説明 1 学校教育関連・・・朝妻参事 2 生涯学習・生涯スポーツ振興関連・・・山南課長 3 文化振興関連・・・畑課長</p> |
| <p>市長</p> | <p>次年度朝倉市教育施策要綱(案)について、説明がありました。具体的にみなさんの方から、意見、質問等ありましたら遠慮なくどうぞお願いします。</p> |
| | <p>質疑・協議等</p> |
| <p>森田市長 朝妻参事</p> | <p>説明を聞きますと、先生方の負担がかなり増えるのではないですか。 新しい施策が導入される中、子どもたちが目の前にいることから、先生方は愚痴もこぼさず頑張っていたいただいているところです。処遇・待遇、施設の充実など望んであるかと思いますが、皆様に現状を認知していただくことはありがたいところです。</p> |
| <p>小川委員</p> | <p>英語学習が低学年化して、秋月ではスピーチコンテストに繋がっています。 他の自治体では、放課後に学校外からの講師を招き学びの場を作り、子どもの英語のモチベーションを維持する効果を上げているところもあるようです。これは予算も伴ってくることは思います。また、実力を確かめることも必要かと思しますので、英語検定の費用補助などをして頂くと一つの助けになるのではないかと思います。</p> |
| <p>森田市長</p> | <p>文科省と同じでなく、小学校に入った時から英語に馴染ませるというのも良いのではないかと、英語が堪能な年配の方などもいらっしゃるって、そういう方の力を借りるのはどうかなと思います。</p> |
| <p>内藤委員</p> | <p>蜷城小学校では、朝・昼・下校時に英語でスピーチするのが校内</p> |

| | |
|------|---|
| | 放送で流れていて、時折聞こえてきます。英語で青少年赤十字の旗を揚げていたり、L e t ' s (～しよう) を使用したり、昼食のメニューの紹介をしているようです。英語教育も盛り上がっていけば良いなと思っています。 |
| 月俣委員 | 我が子の学校では、英語検定、数学検定、歴史検定など補助が出ていたのですが、他の学校はどうでしょうか。受験しやすくなると、検定意欲が出てくるのではないかと思います。 |
| 朝妻参事 | ほとんどの中学校は、希望制で漢字検定など受けていますが、補助は残念ながらありません。 |
| 高良課長 | 市からの補助は出ていませんが、後援会や区費の協力金等からの補助があるところもあるようです。 |
| 森田市長 | 次に、(2) の小中一貫校のあり方・経営方針 (案) について、説明をお願いします。 |
| 高良課長 | 資料 平成 28 年度第 2 回 朝倉市総合教育会議資料 (2) 小中一貫校のあり方・経営方針 (案) について説明 |
| | 質疑・協議等 |
| 小川委員 | 小学校高学年での部活動への参加や小中合同行事であるなど、素晴らしいと思います。子どもが自分の居場所や可能性を見つけられるのはとても素晴らしいことだと思います。是非進めていただき、モデル校にふさわしい成果を上げていただきたいと思います。 |
| 森田市長 | 義務教育学校として、特色をもったモデル校という意識をもって取り組んでいただきたいと思います。 |
| 内藤委員 | 薩摩藩郷中教育では、「嘘をつくな、皆でしっかり話し合え」であるとか、会津藩の「ならぬことはならぬ」であるとかあるように、秋月は稽古館の教えをくんで欲しいと思います。 |
| 高良課長 | 稽古館の教えを今に置き換えて生かして、教育活動を展開していきたいと考えています。 |
| 森田市長 | 次に、(3) の小中一貫校のあり方・経営方針 (案) について、 |

| | |
|--------|---|
| | 説明をお願いします。 |
| 大坪参事補佐 | 資料 平成28年度第2回 朝倉市総合教育会議資料(2) 支援を必要とする児童・生徒に対する教育の充実について説明 |
| 内藤委員 | 質疑・協議等 発達障害などで問題があったとき、福祉事務所であるとか学童保育など、学校と関連があるので、総合教育会議のなかで一緒に情報の説明を受けたりするのも意義があるのではないかと思います。家庭に踏み込まないといけないような状況の時、市役所の部署と一緒に話し、タイアップしていくともっとスムーズに行く場合もあるのではないかと思います。 |
| 森田市長 | 親が一生懸命である家庭だと取り組みやすいでしょうが、そうばかりではないでしょうから、難しいと思います。 |
| 宮崎教育長 | 子ども未来課や県の児童相談所等の力を戴っていることが非常に大きいです。 |
| 朝妻参事 | 要保護児童生徒にかかる関係者会議を年3回位置づけており、教育委員会、子ども未来課、児童相談所、民生委員、校長先生、生徒指導の先生などで構成しています。今回の資料も前回の会議からの資料で、171人の支援を必要とする児童・生徒がいるという状況です。学校の力だけでは限界があることはご承知おきいただけたと思いますので、何か方法はないかと頭を抱えているところです。 |
| 森田市長 | 成功した事例を分析した上で方法を考えるとかになるのでしょうか、先生方も大変であろうと思います。 |
| 月俣委員 | 学童でも学校の先生とやり取りしているところもあります。学童の子だけを受け持っているところであっても、その中に発達障害の子どもがいれば担任の先生と密に取り組みをされているところもあるようです。周りが支援をしている発達障害の子は、学校にも学童にもきています。発達障害といっても自閉症から様々な症状の子どもがいて、ご家庭の環境要因があり、学校に来ることができない子どももいるのだらうと思います。症状等によって支援の仕方も変わってくるのだと思います。 |
| 森田市長 | 発達障害という病気に起因する子は、171名のうちのどのくらいい |

| | |
|-------|--|
| 朝妻参事 | <p>るのでしょうか。</p> <p>発達障害という病気の判断を医者にされた子は、13名あがっています。</p> <p>支援を必要とする子のほとんどは、養育の段階で心身的に順調に育ち切れていないという家庭背景があります。</p> |
| 小川委員 | <p>今は地域の支援体制がそう無く、家庭の事情も様々あり、学童保育も素晴らしいですが時間が限られており、それに匹敵するような例えば社会体育・英語の塾でもいいでしょうし、何か子どもの居場所づくりが出来てくると改善する方向に向くと思うのですが。</p> |
| 朝妻参事 | <p>ひばりが丘学園と古処学園の児童養護施設が二つあります。大変な生い立ちのなかで生きてきた子ども達なのですが、環境が整った学園に来ますと、落ち着いた状況のなかで勉強や友達ができています。私たちが課題と思っているのは、親を変えること。親が変わってくれば、教育の力をもっと発揮できるのではないかと考えています。</p> |
| 森田市長 | <p>以前と違い両親がいても施設に入っているケースも増えてきています。</p> |
| 宮崎教育長 | <p>施設が大きくなって入所すれば解決するかといえば、同じ学校の子どもは同じ施設に入れられないこともあり、遠方の施設になると、お互い寂しくなり家に引き取るのですが、虐待等でまた施設に入るといった繰り返しをされている方もあります。</p> |
| 内藤委員 | <p>保護者の数が少なくなっていることから、地域に住む方は学校で何があっているか知らなくなっているかもしれません。地域コミュニティと協力して、学校の目標をコミュニティに貼りだすとかして、朝倉市総合的な取り組みをしてはどうでしょうか。主任児童委員と教育委員の情報交換の場があることも良いのではないのでしょうか。</p> |
| 市長 | <p>昔は、隣近所が叱ってそれが教育になっていたかもしれないが、地域力が落ちてきているようです。</p> |

| | |
|-------|--|
| 小川委員 | 体験学習で子どもは楽しんで文化サークル教室に来ているが、親は無償で教えている先生に挨拶もされないという話も聞いたことがあります。親の教育がなかなか出来ないのも、コミュニティスクールなどで地元の人が協力していかないといけなくなっています。 |
| 森田市長 | スポーツ少年団に、親が入れさせない、それは親の送り迎えの面倒さなどがあるようです。 |
| 月俣委員 | 秋月小学校は、75%スポーツ少年団に入っており、親も一緒になって応援にいたりすることで、子どももがんばろうとします。異学年の中の子供達の成長をみるのは嬉しいものです。子ども的人数が多かったりすると入れにくいのもかもしれません。礼儀等も教えてもらい、良い経験ができたのではないかと思います。 |
| 内藤委員 | 今日色々とお話を聞きましたが、良い保護者の方も多いため、明るく前向きにやっていくしかないと思います。 |
| 月俣委員 | 発達障害の子どもに細かく先生が入り、成長を見守ってご指導いただき大変かと思いますが、これからもご指導をお願いします。 |
| 宮崎教育長 | 薬を飲ませないといけないうちも増えてきています。入院措置の子どもも出てきているような状況にはなっています。 |
| 森田市長 | 他にございませんか。 無ければこれをもちまして終了したいと思います。 |
| | 質疑・協議等 終了 |
| 石井課長 | 長時間ありがとうございました。それでは4番、その他については特になしです。この総合会議につきましては年に2回という流れでございます。29年度は7月の時期を開催予定として考えております。もちろん事前に日程等の打ち合わせは行いますのでまた改めてお知らせはしていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。 教育委員会の中での話ということで絞った関係でございましたが、子ども未来課あるいはいろいろな多岐にわたって子どもの教育 |

あるいは子育てということでございますから、うち合わせをさせて頂きながら教育委員と市長との大事なやり取りの部分については、拡大をさせていただきながら会議を充実させていくよう計画してまいりたいと思っています。以上をもちまして平成28年度第2回総合教育会議を終わらせたいと思います。どうも長時間お疲れ様でした。